

## ご当地ナンバープレート導入の考えはないか



つかもと こうじ  
 塚本 光司  
 議員

**質問** ここ数年、ご当地ナンバープレート導入の自治体が増えている。本村でも村PRと郷土愛を盛り上げる意味で導入はどうか。因みに、日本経済研究所調べ全国約1750自治体のうち409自治体が導入済み。そこでまず、茨城県内各市町村の実施状況と、本村の登録台数、ナンバープレート発注数、現経費とご当地ナンバープレートにした場合の経費差額は。

**答弁** (総務部長) ご当地ナンバープレートは県下44市町村中14市町が実施している。

本村の現状での登録台数は、50cc以下1678台、90cc以下77台、125cc以下156台、ミニカー24台、小型特殊538台、合計2473台となっている。50cc以下は年間で260枚程度、その他車種は20〜30枚位のナンバープレートを交付している。

ナンバープレートの作成費用については、1回で500枚作成しており、1枚200円程度。

ご当地ナンバープレートに変更すると、近隣市町の例で、1回の発注数を1000枚と仮定すると、300〜450円の間に差が出ている。デザイン等で金額に差が出る様である。

**質問** 原付バイク限定で導入してはどうか。

**答弁** (総務部長) 市町村のイメージアップ、観光振興、その他幅広い村のPRという効果、メリットが考えられる一方、美浦村ナンバーが村外を走るのは少数で、PR効果があるのか。また、担当課へは必要ないという意見も寄せられている。作成費用も3〜4倍になり、費用対効果も含め先進自治体の例を時間をかけて、調査研究していきたい。



**質問** 費用対効果も含め調査研究したいとの答弁だが、私としては費用対効果は測れるものではないと考えている。

確かに費用面では現在の3〜4倍になってしまいが、美浦村を通りかかった村外の人々へ、美浦村はこういう場所だよという発信の意味でのご当地ナンバーと私は考える。

最後に、日本経済研究所調べによる「導入済み市区町村のご当地ナンバー導入のきっかけ」によると①他の自治体での実施を知り庁内から声が上がる②合併もしくは市制何十周年記念事業として提案③首長からのトップダウン等であり、ボトムアップである①と②の事例が多いとしている。それでも導入は考えないか。

**答弁** (村長) 部長のほうからもうやらないとは言っていない、一応検討してよそを見てという話もあった。この先ご当地ナンバーを付けたいと言う人がたくさん出て来れば、44市町村の15番目になるかも知れないが、検討していきたい。